

# 高野新聞

Vol.56



たかの  
**高野 たけし**

37歳

逗子市議会議員（三期）

- ・議会運営委員会（委員長）
- ・総務建設環境常任委員会
- ・基地対策特別委員会

中央大学大学院修士課程修了

## 高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

6月8日～21日の日程で、改選後初となる市議会定例会が開催されました。

選挙中に皆様にお約束していた政策に加え、本市が抱えている課題を行政当局に質しました。（以下に一部掲載）

### ■事業仕分け制度の導入で事業の取捨選択

財政状況が厳しいからこそ、事業の取捨選択を行った上で、必要な事業であればいくらの予算を充てることで住民サービスを維持する事ができるのか、住民ニーズに応えることができるのかしっかりと見極めていくべきです。

そこで、現在逗子市が行っている事業評価制度（自己点検ツール）に加え、第三者の目線を取り入れた事業仕分け制度の導入を提案したところ、市長より来年度からの実施に向け検討していくとの回答がありました。また、事業仕分けの対象とする事業の選択段階でも外部の目線を取り入れるなど、より効果的な制度構築を目指すとの見解も示されました。

市民目線で見て納得のいく事業仕分け制度となるよう、行政当局とは引き続き議論を重ねていきたいと思えます。

### ■ゴミ処理施策は長期的な計画の策定が鍵

現在利用しているゴミの最終処分場においては、今後行う延命化策（静密圧工法）で7～8年程度の延命が図れるとの試算が出ています。しかし、将来にわたって現施設を利用する事は物理的に不可能であることから、長期的な計画をもってゴミ処理施策を推進すべき旨、提言しました。

担当部長からは、ゴミの資源化を推進し現施設の利用可能年数のさらなる延命化を図った上で、財政見通しも踏まえた長期計画の中で本市のゴミ処理事業を進めていくとの回答がありました。

**静密圧工法**・・・すでに埋め立てている処分灰に地上から穴を空け、新たに排出した灰をそこに埋めていく手法。  
作業時に騒音と振動が少ないのが特徴。

政治資金の残り あと 182,495円

（3/1～5/31までの内訳）

収入…給与から	250,000円	支出…ポスター代	116,350円
民主党から	100,000円	新聞印刷代	36,230円
		名刺代	5,943円
		ポスター掲示用備品代	18,800円

※今後も政治資金のガラス張りは必ず続けていきます。

### ■駐輪場利用料の市民優遇策

JR逗子駅西口に位置する無料駐輪場が、有料駐輪場として再整備されることになりました。当該駐輪場の整備が完了すると、市営の有料駐輪場が4か所という事になります。これらの施設の整備、運営にかかる費用は逗子市の予算で捻出していること、さらには現在運営している3施設で年間3,000万円程度の利益が出ていることを考えれば、逗子市在住の利用者には優遇措置を講じるべきだと思います。

そこで、現在は定期利用者に限って行っている市民割引制度の1日利用者への拡大を提案したところ、実現に向けた具体的な方法を早速検討していく旨の回答が担当部長よりありました。

市営駐輪場の一日利用が安価で利用できることとなれば利便性は向上し、違法駐輪の減少にもつながることが期待できます。

### ■踏切り内道路の整備を推進

この間、市民の方々からの声を受け、金沢新道踏切り内道路の段差や歩道幅の改善を関係団体に求めてきました。時間はかかってしまいましたが、JRと県と市による改善に向けた協議がはじまり、段差の解消、及び歩道幅の拡幅と歩道のカラー舗装を行う方向で話し合いが進んでいるとの報告を受けました。

ここまで尽力してくれた担当所管の方々には感謝するところですが、安全性を確保するためには西口を走る県道との接合箇所においても拡幅を行う必要があると考え、三者協議の場への提案を要望いたしました。これに対し担当部長からは、三者協議の場に改めて提起するとの回答を頂きました。

踏切り内の整備には通常道路以上に金銭的負担がかかるため実現までの道のりは険しいかもしれませんが、粘り強く活動していきたいと思えます。また、同様の課題を抱える池田踏切りについても、引き続き改善に向けた取り組みを行っていきます。

## どーなっているの？

市民の皆様からのご意見・ご要望にお答するコーナーです。

**Q1.** 過去に土砂崩れがあった場所なのですが、地盤が弱く現在も天候が悪い時など再び崩れないか心配です。対策を講じていただけませんか？

沼間一丁目の当該地を確認するとともに、近隣住民の方々からこれまでの経過と現状についてお話を伺った上で、担当所管と今後の対応について協議致しました。

当該地は過去に土砂崩れを起こしたこともある地で、現在一部にがけ崩れ防止フェンスが設置されていますが、新たな被害を生む可能性があるため、伸びきっている枝葉の剪定、及び堆積している岩の除去を行う事になりました。

また、災害時に大きな土砂崩れ等が起き、近隣家屋への被害が出ないよう、県に対し急傾斜地の申請とともに、危険性がある箇所全域へのがけ崩れ防止フェンスの設置を要望することといたしました。



**Q2.** 「子ども飛び出し注意」の看板が時間の経過とともに色が薄れてしまい見えにくくなっているため、安全性の観点からも交換していただきたい。

当該地(逗子5丁目)は車が一台通れるくらいの道幅しかない上、京急新逗子駅の駐輪場に向かう道として自転車や原付バイクの通行量も多い道路です。そのため、朝の通学時間は特に危険であると言える場所です。

そこで、子どもたちが注意を払う以上に、ここを通る自転車やバイク、車を運転する大人たちにも周辺への目配せを行ってもらうため、遠くからでも認識できる看板への交換を担当所管をお願いしたところ、早急に対応するとのことでした。

また、劣化してしまい本来の目的を果たすことが難しくなっている他の掲示物の管理についても、適正な対応を求めました。



## あなたの声を高野たけしへ

- お名前:
- ご住所: 〒
- 連絡先
  - E-mail:
  - お電話:



民主党逗子市議団 高野 たけし  
Tel / Fax: 046-871-7368  
E-mail: takano\_zushi@yahoo.co.jp

### 【編集後記】

三月二十八日投開票で行われた市議会議員選挙において、三期目のスタートを切ることでございました。ご支援、ご声援いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

現在の逗子市の財政状況は非常に厳しく、市民ニーズに即した事業の取捨選択が喫緊の課題と言えます。

今、何が市民の皆様にとりて必要か、将来の逗子市政のあり方も勘案しながら、政策を進めていきたいと考えています。

五月初旬に私の不注意で足を怪我してしまい、多くの皆様方にご心配をおかけいたしました。当初、ゴールデンウィーク明けに配布を考えていた「高野新聞」においても配布することができず、前回の配布から時間が空いてしまいました。したことをお詫び申し上げます。「高野新聞」におきましては今後も継続的に作成、配布していきますので、ご覧頂ければ幸いです。